

平成25年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	街なか賑わいづくり振興交付金事業	事業コード	401
-----	------------------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	1011
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	711	

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2008	終了年度	2015
	目的	商工会議所が自ら計画し、成果目標を定めて行う商業振興事業に交付し、商業者の意識改革と商業の活性化に寄与する。				
	概要	賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、地域住民・学生・商業者・交通事業者・行政・商工会議所が一体となって活性化事業に取り組み、街なかの賑わいを創出し、商業人材の育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の振興を図るべく策定された「鯖江街なか賑わいプラン」に基づき平成20年度から5年間取り組んできた。平成25年度から3年間は改定した「(新)鯖江街なか賑わいプラン」に基づき、プランの推進母体である「さばえ夢かたち推進委員会」が実施する事業ならびに商店街の活性化事業にかかる経費の一部を交付する。交付率3/4以内。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	鯖江商工会議所が実施主体であるが、市職員も関連事業に参画。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	鯖江街なか賑わいプランの実施事業数		事業	目標値	33	37	41	-	-
				実績値	35	37	37		
	計算根拠			達成率(%)	106.1	100	90.2		
				ランク	A	A	B		
			実数値						
(新) 鯖江街なか賑わいプランの実施事業数		事業	目標値	-	-	-	19	19	
			実績値						
計算根拠			達成率(%)						
			ランク	A	A	B			
			実数値						

事業費/千円	区分	H24(2012)	H25(2013)	事業要員	正規職員	0.25	タイプ	会計	一般会計
	予算額	17,170	16,160		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	15,501			※所要時間			経費区分	補助費等
	繰越額	0	0						

平成25年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性 【ニーズ】住民等のニーズは十分に あります。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	郊外大型店舗に客足が集中する傾向にあり、商店街等の経営者は苦境に立たされている。街中に賑わいを創出することを求めている者は多い。	
	【行政関与】行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	中心市街地を活性化することは商工振興行政の重要課題である。	
	【競合】国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		
		事業名		
	効率・効果 【類似重複】本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠		
		所管課		
【コスト削減】今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名			
	根拠	現状を熟知している鯖江商工会議所が実施主体となって、街中に賑わいを創出すべく活性化事業に取り組んでおり、今以上にコスト削減の余地はない。		
有効性 【財源確保】今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> 補助金等の活用	根拠	平成25年度要望事項として、県に対し「新にぎわい商業ゾーン形成事業」補助金の交付を要望する。		
	根拠	より効果的な実施事業を検討する必要あり。		
【成果向上】今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠			

ACTION	【平成25年度 方向性】 <input type="text" value="内容拡大"/>	【平成26年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成25年度取組み 「(新)鯖江街なか賑わいプラン」に基づき、賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なか賑わいを創出し、商業人材の育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の活性化を図るとともに、さらなる中心市街地活性化対策として、県の「新にぎわい商業ゾーン形成事業」の採択に向けた取り組みを行う。	平成26年度計画 「(新)鯖江街なか賑わいプラン」に基づき、賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なか賑わいを創出し、商業人材の育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の活性化を図る。

【H26提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						<不可能選択理由> 団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施		

平成25年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	若者による地域活性化推進事業	事業コード	2653
-----	----------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		
		活力ある産業と賑わいのあるまちづくり	商業	魅力ある商業を再生する	中心市街地活性化	1011
		「人の増えるまち」づくり	若者が活躍し、定住しやすい環境の充実	若者連携		821

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動し、市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。				
	概要	若者に魅力ある、今後に繋がるセミナーの実施や、県外学生等との交流を行う。県内外の若者による地場産業を活用した地域活性化の提言を受け、そのプランの実現に向けた活動を行う。地元大学生および過去の地域活性化プランコンテストの参加者が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施し、地域住民や団体、地元学生との交流を深め、協働連携活動の推進や地域活性化の課題を解決する。				
	法令根拠	なし				
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	地元大学生および過去の地域活性化プランコンテストの参加者が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施する。				

DO(実施)	活動指標									
	指標名			単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	プレゼンテーション参加学生数			人	目標値	20	20	20	20	20
					実績値	24	24	24		
	計算根拠				達成率(%)	120	120	120		
					ランク	A	A	A		
			実数値							

事業費/千円	区分	H24(2012)	H25(2013)	事業委員	正規職員	0.1	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,800	1,000		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	2,501			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

平成25年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	地元大学生が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施し、地域住民や団体、地元学生との交流を深め、協働連携活動の推進や地域活性化の基礎作りを進めており、地域住民等のニーズがある。	
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で ですか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	まちづくりに関する事業であり、行政が関与すべき事業である。	
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		事業名		
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	県内外の学生が合宿しながらプラン作りを行っており、今以上にコスト削減の余地はない。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	平成22年度において、国の補助制度の活用を試みたが不採択となった。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	学生を対象としたプランコンテストには、県内外の優秀な学生が参加しており、また、スケジュール的にも成果を向上させる余地はない。		

ACTION	【平成25年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成26年度 方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成25年度取組み 県内外の若者による地域活性化の提言を受け、そのプランの実現に向けた活動を行う。	平成26年度計画 県内外の若者による地域活性化のプランの提言を受け、そのプランの実現に向けた活動を行う。

【H26提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能						<不可能選択理由> <input type="text"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	-	可能	不可能	可能	可能	
実施状況	-	未実施	未実施	実施		

平成25年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	鯖江市商業チャレンジチーム支援事業	事業コード	3030
-----	-------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	1011
	重点施策体系	活力ある産業と賑わいのあるまちづくり	商業	魅力ある商業を再生する	中心市街地活性化	

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	市内の商業(卸売業、小売業)またはサービス業の意欲ある事業者が連携し実施する、販売促進・顧客創造事業を支援することにより、商業の振興育成に寄与することを目的に実施する。				
	概要	鯖江市内で1年以上、商業(卸売業、小売業)またはサービス業を主として営む、3名以上で構成される中小企業者が共同して実施する合同セール、合同広告等の販売促進・顧客創造事業並びに、販売促進・顧客創造を目的とした新商品・サービス開発(知的財産権取得を含む)、ICT導入、店舗診断、勉強会開催等の企画提案型事業に対して、審査の上、補助対象経費の2/3以内(上限10万円)を補助する。※平成25年度は補助拡充(補助率アップ:(H25)3/4←(H24)2/3、上限アップ:(H25)20万円←(H24)10万円)※(H25当初予算計上:1,000千円(@20万円×5件)				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	市内の商業(卸売業、小売業)またはサービス業の意欲ある事業者が連携し実施する販売促進・顧客創造事業を支援				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	事業広報の実施		回	目標値			2	2	2
				実績値			2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	各年度の認定事業数		件	目標値			10	5	5
				実績値			2		
	計算根拠	各年度内の認定事業数(予算総額1,000千円に対して、H24は補助限度額100千円のため、10件分を計上、H25からは補助限度額200千円のため5件分を計上)		達成率(%)			20		
				ランク			C		
実数値						2			

事業費/千円	区分	H24(2012)	H25(2013)	事業委員	正規職員		タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,000	1,000		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	200			※所要時間	80		経費区分	補助費等
	繰越額								

平成25年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	従来より、事業者から商業・サービス業・飲食業向けの支援についての要望が寄せられていた。		
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	対象が鯖江市全域の中小企業者であり、商店街等の範囲を超えているため、行政の関与が必要。		
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名			【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名			【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	助成事業であり、申請件数精査のうえ、コスト削減余地なし。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国や県の助成制度で、市の制度の財源を確保するものは見当たらない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	意欲ある商業者が連携して、販売促進・顧客創造事業を実施することによりさらに商業振興、中心市街地活性化につながる。		

ACTION	【平成25年度 方向性】	<input type="text"/>	【平成26年度 方向性】	維持
	平成25年度取組み	平成24年度実績等を踏まえて、平成25年度は補助拡充（補助率アップ：(H25) 3/4←(H24) 2/3、上限アップ：(H25) 20万円←(H24) 10万円）	平成26年度計画	引き続き、意欲ある商業者が連携して実施する「販売促進・顧客創造事業」を支援し、商業振興を図る。

【H26提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能						〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	—	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	—	未実施	未実施	未実施		